2026.11.19 公開版

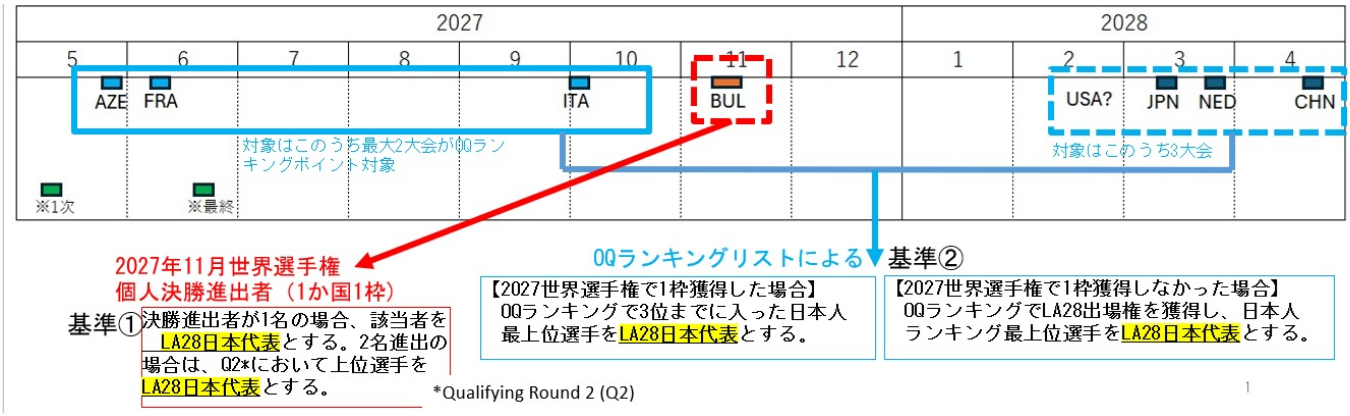
トランポリン LA28 オリンピック日本代表選考

【Road to Los Angeles 2028】
出場枠獲得の仕組み及び関係規程は、以下を参照。
日本体操協会「2028 ロサンゼルスオリンピックへの道」
World Gymnastics 公式規程掲載ページ

【日本代表選考の方針】
＜女子＞
LA28 オリンピックでのメダル獲得を目標に、各選手の成長と競技レベルの向上を図る。オリンピック出場権獲得レースからオリンピック本番への十分な準備期間確保のためにも、2027 年世界選手権（基準①）、オリンピック予選(OQ)ランキング（基準②）、大陸選手権（基準③）において、**オリンピック出場権を獲得した選手**を LA28 日本代表（最大 2 名）とする。

＜男子＞
LA28 オリンピックでの金メダル獲得を最大の目標とする。成長計画とトータルコンディショニングを軸に、選手・コーチ・支援スタッフが連携し、十分な準備期間を確保して強化に取り組む。本大会で最高のパフォーマンスを発揮できる状態を整えることを、強化戦略の基本とし、2027 年世界選手権（基準①）、オリンピック予選(OQ)ランキング（基準②）、大陸選手権（基準③）において、**オリンピック出場権を獲得した選手**を LA28 日本代表（最大 2 名）とする。

＜男女共通＞
※ユニバーサリティ枠の場合、選手指名のため、指名された選手を日本代表とする。
※基準③はアジアの国が基準①②で出場権を獲得した場合、消滅するため可能性が低い。
※LA28 国内代表選考会は実施しない。
※LA28 日本代表は基準①と基準②に関連する大会に出場した選手の中から選考する。



【LA28 出場権獲得大会への派遣選手選考方法（2027 世界選手権／27-28 ワールドカップシリーズ）】

OQ である 2027 年 W 杯が決定。

第１戦 AZE（2027/5/28-30）、 第２戦 FRA(2027/6/11-13）、第３戦 ITA(2027/10/1-3)

2028 年 W 杯は期日場所未定（2026 年 11 月現在）

女子

【基準①　2027 年世界選手権ソフィア大会】

＜世界選手権日本代表選考方法＞　日本代表 6 名（個人 4 名＋シンクロのみ 2 名選考）

1. 2027 年 5 月第一次選考会（全日本年齢別大会：5/7-9 予定）　上位 2 名内定（予選得点＋決勝得点）

2. 最終選考会前に開催される基準②の OQ であるワールドカップ第 1 戦、もしくは第 2 戦で決勝に進出した選手（1. で内定した選手を除く）を日本代表に内定する。

　最大 2 名（3 名以上の場合は、決勝での得点が高い選手が優先）

3. 2027 年 6 月最終選考会（全日本選手権：6/24-27 予定）にての残りの日本代表を決定する

　（Q2 得点＋決勝得点の合計得点）の上位者

　※1と3の日本代表選出は、派遣標準得点(106.00 点)を超えていることが条件

【基準② 2027-2028 年ワールドカップシリーズ（OQ 全 6 戦）】

※2027 年のワールドカップは最大2大会が OQ Ranking 対象

＜ワールドカップ第 1 戦（AZE）、第 2 戦(FRA) ＞

2026 年川崎ジャパンオープン(以下、川崎 JO)終了時点のナショナル強化選手制度（以下、N ランキング）上位者から派遣（4 名）

＜ワールドカップ第 3 戦（ITA）＞

1)　第 1 戦、第 2 戦、どちらかでメダルを獲得した選手を派遣する

2)　第 1 戦、第 2 戦後の OQ_Ranking_List 上位者（日本選手のうち）を派遣

3)　第 1 戦、第 2 戦に派遣した選手のうち、以下の選手は交代対象とし、交代選手として 2027 年世界選手権最終選考会（全日本選手権）終了時点の N ランキング上位者を派遣するものとする

- 第 1 戦、第 2 戦終了時にて OQ_Ranking_List にのっていない選手（ポイントを獲得していない選手）
- 怪我等により万全で試合に臨めない状態の選手

＜ワールドカップ第 4 戦～第 6 戦（2028 年 2 月～4 月）＞　期日場所未定

2027 年世界選手権後の OQ_Ranking_List 上位 4 名（日本選手のうち）を派遣する。ただし 2027 年世界選手権において出場枠を取った選手が参加を希望すれば、優先して派遣する。上記で 4 枠が決まらない場合は、2027 年川崎 JO 終了時の N ランキング上位者を派遣する。

【基準③ 2028 大陸選手権】

大陸選手権への派遣は、大陸選手権 Nominative 締め切り時の N ランキング上位者を派遣し、日本の出場権を獲得した選手を日本代表に決定する。

＊派遣選手交代のガイドラインについては別途定める。

男子

【基準①　2027 年世界選手権ソフィア大会】

＜世界選手権日本代表選考方法＞　個人競技最大 4 名　※一部抜粋

1. 2027 年 5 月全日本年齢別選手権の優勝者(最大 1 名)
2. 2027 年 5 月 OQ･WC 第 1 戦(AZE)で決勝進出した日本人最上位者(最大 1 名)
3. 2027 年 6 月 OQ･WC 第 2 戦(FRA)で決勝進出した日本人最上位者(最大 1 名)
4. 2027 年 6 月全日本選手権の優勝者(最大 1 名)
5. 上記 1～4 の合計人数が 4 名に満たない場合は、2027 年 6 月全日本選手権の上位者から選出する。

※同一選手が複数の条件に該当する場合は 1 名として数え、補充では既に選出した選手を除く。

※詳細は、2027 年第 40 回世界トランポリン競技選手権大会日本代表選考法の要項に記載

【基準② 2027-2028 年ワールドカップシリーズ(OQ 全 6 戦)】

＜OQ･WC 第 1 戦(AZE)、OQ･WC 第 2 戦(FRA)＞

個人競技の出場選手は最大 4 名とし、次の 1～4 の優先順位により選出する。選出人数が 4 名に達した時点で選考を終了する。

1.2026 年 11 月世界選手権でのメダル獲得者･･･該当者なし
2.2026 年 12 月川崎 JO 終了時点のナショナル強化選手認定制度ランキング(以下、N ランキング)で SA ランク以上の上位選手(最大 2 名)
3.2026 年 11 月全日本選手権(準決勝又は決勝)及び 2026 年 12 月川崎 JO(決勝)のいずれかで、63 点以上を 1 度でも記録した選手のうち、対象演技の最高得点が高い選手から順に選出する。同点の場合は、対象演技を T→H→D の順でタイブレークを行う。それでも、同点の場合は対象演技を行った大会の予選得点→予選得点の T→H→D の順でタイブレークを行う。
4.上記 1～3 により選出された選手が 4 名に満たない場合は、2026 年 12 月川崎 JO 終了時点の N ランキング上位者から順に選出する。
5.怪我等により万全の状態で試合に臨めない選手がいた場合は、2026 年 12 月川崎 JO 終了時点の N ランキング上位者から順に交代する。

＜OQ･WC 第 3 戦(ITA)＞

個人競技の出場選手は最大 4 名とし、次の 1～4 の優先順位により選出する。 選出人数が 4 名に達した時点で選考を終了する。

1.OQ･WC 第 1 戦又は第 2 戦でメダルを獲得した選手
2.OQ･WC 第 2 戦終了時の OQ_Ranking_List における日本人上位 2 名を派遣する。
3.2027 年 5 月全日本年齢別選手権(決勝演技)及び、2027 年 6 月全日本選手権(準決勝又は決勝)の演技いずれかで、64 点以上を 1 度でも記録した選手のうち、対象演技の最高得点が高い選手から順

に選出する。同点の場合は、対象演技を T→H→D の順でタイブレークを行う。それでも、同点の場合は対象演技を行った大会の予選得点→予選得点の T→H→D の順でタイブレークを行う。

4.上記 1～3 に該当する選手が 4 名に満たない場合は、既に選出された選手を除き、2027 年 6 月全日本選手権終了時点の N ランキング上位者から順に選出する。

5.怪我等により万全の状態で試合に臨めない選手がいた場合は、2027 年 6 月全日本選手権終了時点の N ランキング上位者から順に交代する。

＜OQ・WC 第 4 戦～第 6 戦(2028 年 2 月～4 月)＞　期日場所未定

開催大会及び期日が未定のため、派遣選手の選考方法は、大会情報の決定後、各大会の Nominative の締め切りを確認したうえで、改めて公表する。

【基準③　2028 大陸選手権】

大陸選手権への派遣は、大陸選手権 Nominative 締め切り時の N ランキング上位者を派遣し、日本の出場権を獲得した選手を日本代表に決定する。

補足

【N ランキングのタイブレークについて】

女子

N ランキング（ナショナル強化選手認定制度）に用いる得点が同点の場合は、ランキングを算出した2本の演技を対象に以下の通り、タイブレイクする。

1. 採用されている2本の演技の T スコア(跳躍時間点)の合計が高い選手を上位とする。
2. 採用されている2本の演技の H スコア(水平移動点)の合計が高い選手を上位とする。
3. 採用されている2本の演技の D スコア(難度点)の合計が高い選手を上位とする。
4. 採用されている2本の演技の E スコア（演技点）の合計が高い選手を上位とする。

男子

1.N ランキングに用いる得点が同点の場合は、当該得点を記録した大会における決勝演技得点が高い選手を上位とする。
2.上記 1 でも同点の場合は、上記 1 の決勝演技におけるＴスコア(跳躍時間点)が高い選手を上位とする。
3.上記 2 でも同点の場合は、上記 1 の決勝演技におけるＨスコア(水平移動点)が高い選手を上位とする。
4.上記 3 でも同点の場合は、上記 1 の決勝演技における D スコア(難度点)が高い選手を上位とする。

男女共通

【LA28 オリンピックリザーブ選手について】

＜基準①と基準②の両方を獲得できた場合＞

リザーブ 1：基準①の次点者(2027 年 11 月世界選手権の決勝進出者に限る)
リザーブ 2：基準②の次点者(OQ_Ranking_List の上位者から選出)
リザーブ 3：上記 1～2 以降は、OQ_Ranking_List の上位者から選出していく

＜基準①のみの獲得の場合＞

リザーブ 1：基準①の次点者(2027 年 11 月世界選手権の決勝進出者に限る)
リザーブ 2：OQ_Ranking_List の最上位者
リザーブ 3：上記 1～2 以降は、OQ_Ranking_List の上位者から選出していく

＜基準②のみの獲得の場合＞

リザーブ 1：OQ_Ranking_List の次点者
リザーブ 2：上記 1 以降は、OQ_Ranking_List の上位者から順に選出していく
※該当者がいない場合は、後順位のリザーブを順に繰り上げる。代表内定者及び既に選出されたリザーブは除く。

【選考方法発表後の規程の改定及び公式解釈への対応】

本選考方法の発表後に、国際オリンピック委員会(IOC)又は World Gymnastics による関係規程の改定、又は権限を有する機関による公式解釈の提示・変更があり、本選考に適用される場合は、これに従うために必要な範囲で、本選考方法及び既に行った選考・内定の取扱いを変更する場合がある。

これらの変更に伴う代替措置又は追加の選考機会の確保を保証するものではない。

【災害等の不測の事態への対応】

自然災害、感染症の拡大、戦争・紛争、渡航制限その他の不可抗力により、選考対象大会の開催又は選手の参加・派遣に重大な支障が生じた場合は、その影響に応じ、必要な範囲で本選考方法を変更し、又は特別措置を講じる場合がある。

ただし、状況及び選考・エントリー期限等の制約により、対応できない場合があり、代替大会の実施、追加の選考機会又は派遣を保証するものではない。

【大会情報及び登録期限等の変更への対応】

OQ 対象大会、開催期日又は Nominative(選手名登録)の締切等の変更により、予定していた選考又は派遣が困難となった場合は、必要な範囲で、選考時期、対象とする大会成績・ランキングの基準時点又は派遣選手の取扱いを変更する場合がある。

【上記に係る手続及び周知】

変更又は特別措置は協会所定の手続により決定し、その内容及び理由は、可能な限り速やかに公表する。

【選考上の判断体制】

本選考方法の適用に係る判断及び変更案の策定は、男女それぞれのトランポリン強化本部が担う。協会所定の審議・承認を要する事項は、当該手続に従う。